

平安書道会事務局だより

令和五年正月



ウイズコロナの生活に慣れつこになってしまった一年間でした。しかしながら、はるか西方では時代錯誤のような戦さをはじめ、毎日送られてくる惨状に、やるせない気持ちのかたも多いと思います。

あれこれ値上げも激しいし…。

しかし、なんといっても新しい年はウサギ年。苦しいことも跳ねのけて、思う存分ジャンプする年になったらいなと思います。

では昨年令和四年の一年間の平安書道会の活動をご紹介します



第101回 平安書道会公募展 特別賞受賞者

受賞	一般	教育部
京都府知事賞	長澤 久美子	平道 由唯 白方 南帆 堀 結捺
京都市市長賞	吉岡 時翠	新家 瑚々 西山 七瀬 三上 莉世
京都府教育委員会賞		都賀田 めい
京都市教育委員会賞	黒田 恵華	岡崎 萌々香 谷口 美緒 中 凜香
京都商工会議所賞		大家 さら 東 美佑 樋口 希愛
平安書道会会長賞		田中 杏樹
朝日新聞社賞	川崎 夕貴	平村 和瑚 田中 伯來
毎日新聞社賞	塚田 凌煌	大西 海心 前川 創志
読売新聞社賞	岡本 順子	松本 陽咲 釣川 紗矢
京都新聞賞	宮崎 玄煌	保賀 きらり 荒谷 佳宏
京都銀行頭取賞		川瀬 亮遥 松本 明里沙 泉 彩音
芸術新聞社賞		高田 暖和 田邊 穂花 野中 愛理

吉澤 義則 賞	西部 齋子
神田 喜一郎 賞	中森 恭子
綾村 坦園 賞	板谷 悦子
平安 準大 賞	田谷 妙子
平安 大 賞	松本 茂
平安 特別大 賞	細見 玲汀

【総会】

一月三十日に予定していた総会は、コロナの流行が収まらないため、直前に中止となりました。

開館まあらしい北山の京都府歴史彩館にて、前年に開かれた第百回記念公募展のお祝いもする予定でしたが、残念なことでした。記念式典や講演、記念品の配布などもすべて中止となり、百回記念図録と記念品は、後日各会員に郵送されました。

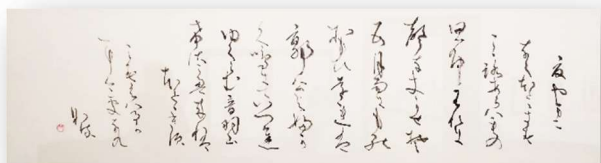
【平安公募展】

今年の七月十七

日と二十四日は、祇園祭の巡行がありました。三年ぶりの巡行に都大路は見物人で溢れました。

その間に挟まれるような二十一日から二十四日、京都市京セラ美術館の二階

北半分を使って、百一回目の公募展が開かれました。およそ一世紀にわたる平安書道会の公募展、新しい一歩を踏み出しました。三百五十点が並びました。



役員及び

特別大賞作品

【訃報】

九月八日に、植田一穂会長が、転居先の東京で急逝されました。御池のマンションからお引越される直前にお会いしたとき、元気なお姿を拝見したすぐ後だっただけに、悲報の連絡は信じがたいものでした。ご冥福を深くお祈りいたします。



植田穂積（一穂・八朔）先生は京都府副知事を務められました。平安書道会の参与・副会長を歴任。狩野会長の後を受け、平成二十九年に会長に就任されました。会に多大な貢献をされました。

第四十回聚英展

十月二十七日～三十日 京都文化博物館にて開催。

平安書道会審査員による小品展も四十年続いています。今年は出品数が少々少なかったけれど、公募展とはひとあじ違う、各自が競い合う趣向あふれた作品群でした。古典重視の印象が強い平安書道会ですが、近代詩文も多いです。多彩な表現ができて親しみやすいですね。



聚英展の作品は平安書道会 HP にも掲載しています。

先人追悼法要・筆供養

十一月二十三日(祝日)

東福寺塔頭 正覚庵にて平安書道会の先人を追悼する法要がありました。当日はあいにくの雨模様でしたが、雨にぬれた苔の緑が紅葉を一層あでやかに映し出していました。



公募展会場風景